別紙様式１（Ａ４判縦長横書）

令和５年度特別支援学校中堅教諭資質向上研修【前期】研究協議（7/27）資料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受講番号 | ○○○○○○○○ | 所 属 部 |  |
| 分　　掌 |  |
| テーマ | 実態把握に基づく指導・支援～「社会モデル」の考え方を踏まえた障害の捉え方～ | | |
| 「受講番号」については、別紙名簿の受講番号（８桁）を記入する。  　本研修の他の全ての課題についても、同じ「受講番号」を使用する。 | | | |

|  |
| --- |
|  |

備考

　(1) ７月27日（木）の協議「実態把握に基づく指導・支援～『社会モデル』の考え方を踏まえた障害の捉え方～」においては、協議資料を基に、班ごとに研究協議を行う。当日の協議は、実施要項の別紙名簿に記載された班分けに基づいて行う。

　(2) 受講者は、「実態把握に基づく指導・支援｣について、「社会モデル」の考え方を踏まえた各学校での取組や事例など、各班で話し合われる内容に関わる協議用資料を作成する（過年度や前任校での内容でもよい）。項目立ては自由とする。

　(3) 資料については、下記「記載例」のように、見出しを付け、箇条書きにするなど、ポイントを絞り、できるだけ簡潔に記述する。ただし、「個人情報保護」の観点から個人が特定できるような記述はしない。記載の必要がある場合は「Ａ」「Ｂ」のようにアルファベット順に表記する。性差の区別はしない。

　(4) この資料を４部印刷し、令和５年６月２９日（木）までに、総合教育センター研修部基本研修室（研修担当宛て）に送付する。その際、封筒の表左隅には、「特別支援学校中堅教諭資質向上研修【前期】研究協議（選択研修名）協議資料在中」と朱書きする。

　　　また、研修当日（7/27）には、各自が所属する班（別紙２参加者名簿のとおり）の人数分の部数を持参する。

|  |
| --- |
| 記載例  　１　幼児児童生徒の実態（「社会モデル」の考え方を踏まえて）　(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  　　(2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  　２　指導・支援の取組  　　(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  　　(2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  　３　今後の課題  　　(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  (2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |

（記入上の注意）

・Ａ４判１枚にまとめる。

・１ページの行数は40行から45行、

１行の字数は35字から45字程度

とする。

・本文は、明朝体10.5ポイントを

原則とし、見出し等は大きさや

フォントの変更も可とする。